



## 2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年10月31日

上場会社名 株式会社サンリツ 上場取引所 東  
 コード番号 9366 URL http://www.srt.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三浦 康英  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 田中 光晴 (TEL) 03-3471-0011  
 四半期報告書提出予定日 2018年11月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	8,517	9.9	474	63.7	430	78.2	287	84.4
2018年3月期第2四半期	7,752	7.9	290	33.0	241	52.0	156	311.6

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 302百万円(41.4%) 2018年3月期第2四半期 213百万円(210.3%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2019年3月期第2四半期	51.58		51.15	
2018年3月期第2四半期	27.97		27.87	

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
2019年3月期第2四半期	19,271		7,821		39.9	1,379.01		
2018年3月期	19,554		7,640		38.5	1,348.76		

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 7,697百万円 2018年3月期 7,529百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2018年3月期	—		0.00		24.00	
2019年3月期	—		0.00			
2019年3月期(予想)					25.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	16,500	△0.7	900	10.2	810	13.8	480	4.5	85.99	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	6,006,373株	2018年3月期	6,006,373株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	424,154株	2018年3月期	424,102株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	5,582,249株	2018年3月期2Q	5,582,381株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本の経済状況は、自然災害の増加などの不安要因はあるものの、個人消費、設備投資の回復により緩やかに回復いたしました。世界経済は、貿易摩擦問題の長期化などを背景に、景況感はやや減速傾向にあるものの拡大基調を維持いたしました。

物流業界におきましては、国内貨物は消費関連、生産関連を中心に堅調に推移いたしました。国際貨物は世界経済が拡大基調を維持する中、堅調に推移いたしました。

このような事業環境の中、当グループは、3カ年の中期経営計画（2017年4月～2020年3月）の達成に向けて、ビジョン「オペレーションからソリューションへ」のもと、グループ一丸となって取り組んでまいりました。

この結果、国内事業では、無線通信機器の取扱いが減少したものの、前期に獲得した制御システム案件が引き続き堅調に推移したことに加え、業界の活況が続く工作機械の取扱いも好調に推移したことにより、売上高、営業利益ともに増加いたしました。

海外事業におきましては、工作機械の取扱いが前期と同水準で推移したことにより、売上高、営業利益ともに前年同期並みの水準となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高85億17百万円（前年同期比9.9%増）、営業利益4億74百万円（前年同期比63.7%増）、経常利益4億30百万円（前年同期比78.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億87百万円（前年同期比84.4%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①梱包事業部門

半導体製造装置の取扱い増加及び業界の活況が続く工作機械の取扱いも好調に推移したことにより、売上高、セグメント利益ともに増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高62億96百万円（前年同期比10.9%増）、セグメント利益6億94百万円（前年同期比36.2%増）となりました。

#### ②運輸事業部門

制御システムの取扱いが増加したことに加え、運輸事業部門の合理化が進んだことにより、売上高、セグメント利益ともに増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高11億35百万円（前年同期比9.5%増）、セグメント利益67百万円（前年同期比97.3%増）となりました。

#### ③倉庫事業部門

前期計画遅れだった新規案件が当期に入り堅調に推移したことにより売上高は増加したものの、自動ロボット制御ピッキングシステムの導入による先行費用の発生によりセグメント利益は減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高9億46百万円（前年同期比5.7%増）、セグメント利益1億58百万円（前年同期比3.3%減）となりました。

#### ④賃貸ビル事業部門

本社ビルの稼働率が高水準で推移したことにより、売上高は概ね前年同期と同水準で推移いたしました。利益面に関しては、定期修繕費が前期より減少したことによりセグメント利益は増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高1億40百万円（前年同期比0.6%減）、セグメント利益56百万円（前年同期比10.0%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産192億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億83百万円の減少となりました。主な内容は、以下のとおりであります。

流動資産につきましては、54億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億94百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の減少3億13百万円によるものであります。

固定資産につきましては、138億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産において、建物及び構築物の減少1億57百万円、機械装置及び運搬具の増加5億59百万円、リース資産の減少1億15百万円及び建設仮勘定の減少2億26百万円、無形固定資産においてソフトウェアの減少51百万円によるものであります。

## ②負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、114億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億63百万円減少いたしました。

流動負債につきましては、43億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億30百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少70百万円、短期借入金の増加2億43百万円、未払法人税等の減少1億33百万円、賞与引当金の減少81百万円、その他の減少90百万円によるものであります。

固定負債につきましては、70億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億33百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金の減少1億86百万円、リース債務の減少1億36百万円によるものであります。

## ③ 純資産

純資産につきましては、78億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億80百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加1億53百万円、新株予約権の増加12百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の38.5%から39.9%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績の差異につきましては、本日(2018年10月31日)公表の「第2四半期累計期間業績予想と実績の差異に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、通期の連結業績予想につきましては、2018年5月10日公表の業績予想から変更はありません。

また、今後何らかの要因により業績予想を見直す必要性が生じた場合は、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,658,393	1,345,175
受取手形及び売掛金	3,689,425	3,680,742
原材料及び貯蔵品	140,123	142,564
その他	218,703	243,050
貸倒引当金	△5,700	△5,400
流動資産合計	5,700,945	5,406,132
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,300,820	7,143,766
機械装置及び運搬具(純額)	73,936	633,555
土地	2,303,455	2,303,455
リース資産(純額)	1,872,821	1,757,590
建設仮勘定	226,639	—
その他(純額)	38,386	45,562
有形固定資産合計	11,816,058	11,883,930
無形固定資産		
ソフトウェア	75,278	24,051
その他	568	897
無形固定資産合計	75,846	24,948
投資その他の資産		
投資有価証券	606,663	604,243
破産更生債権等	7,707	7,447
繰延税金資産	758,106	714,899
その他	596,525	636,902
貸倒引当金	△7,707	△7,447
投資その他の資産合計	1,961,295	1,956,045
固定資産合計	13,853,201	13,864,924
資産合計	19,554,146	19,271,056

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	756,920	686,438
短期借入金	1,923,252	2,166,430
リース債務	268,841	271,367
未払法人税等	277,988	144,636
賞与引当金	385,541	304,179
その他	877,155	786,493
流動負債合計	4,489,698	4,359,545
固定負債		
長期借入金	4,159,620	3,973,280
リース債務	1,679,251	1,542,379
退職給付に係る負債	845,065	851,751
資産除去債務	423,913	428,499
長期預り金	207,987	207,957
金利スワップ	107,630	86,326
固定負債合計	7,423,468	7,090,195
負債合計	11,913,166	11,449,740
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,523,866	2,523,866
資本剰余金	2,441,128	2,441,128
利益剰余金	2,668,879	2,822,844
自己株式	△208,719	△208,758
株主資本合計	7,425,155	7,579,080
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	236,363	232,285
繰延ヘッジ損益	△74,673	△59,893
為替換算調整勘定	△3,940	△4,493
退職給付に係る調整累計額	△53,741	△49,022
その他の包括利益累計額合計	104,007	118,876
新株予約権	12,950	25,009
非支配株主持分	98,867	98,349
純資産合計	7,640,980	7,821,316
負債純資産合計	19,554,146	19,271,056

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	7,752,771	8,517,792
売上原価	6,340,780	6,857,631
売上総利益	1,411,990	1,660,161
販売費及び一般管理費		
販売費	536,878	554,556
一般管理費	585,007	630,698
販売費及び一般管理費合計	1,121,885	1,185,255
営業利益	290,104	474,906
営業外収益		
受取利息	143	174
受取配当金	6,794	7,901
受取保険金	5,438	4,956
その他	2,838	1,923
営業外収益合計	15,214	14,955
営業外費用		
支払利息	62,746	57,474
その他	1,229	2,266
営業外費用合計	63,975	59,740
経常利益	241,343	430,121
特別利益		
投資有価証券売却益	12	—
特別利益合計	12	—
税金等調整前四半期純利益	241,356	430,121
法人税、住民税及び事業税	89,000	106,046
法人税等調整額	△2,156	36,965
法人税等合計	86,843	143,012
四半期純利益	154,512	287,108
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,649	△830
親会社株主に帰属する四半期純利益	156,162	287,939



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
四半期純利益	154,512	287,108
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40,516	△3,765
繰延ヘッジ損益	14,278	14,780
為替換算調整勘定	△752	△553
退職給付に係る調整額	5,260	4,719
その他の包括利益合計	59,301	15,180
四半期包括利益	213,814	302,289
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	214,880	302,807
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,065	△517

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,679,755	1,036,446	895,264	141,304	7,752,771	7,752,771
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,921	—	—	1,921	1,921
計	5,679,755	1,038,368	895,264	141,304	7,754,692	7,754,692
セグメント利益	510,150	33,959	163,848	51,482	759,440	759,440

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	759,440
セグメント間取引消去	208
全社費用(注)	△469,544
四半期連結損益計算書の営業利益	290,104

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	6,296,181	1,135,027	946,070	140,513	8,517,792	8,517,792
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,304	—	—	2,304	2,304
計	6,296,181	1,137,332	946,070	140,513	8,520,097	8,520,097
セグメント利益	694,570	67,005	158,364	56,637	976,579	976,579

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	976,579
セグメント間取引消去	167
全社費用(注)	△501,840
四半期連結損益計算書の営業利益	474,906

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

## (重要な後発事象)

## 子会社の増資

当社は、2018年10月31日開催の取締役会において、米国にある当社100%子会社であるSANRITSU LOGISTICS AMERICA Inc. (以下「SLA社」という)への増資を行うことを決議いたしました。

なお、2018年11月振込予定の増資により、SLA社の資本金の額が当社の資本金の額の100分の10以上に相当し、SLA社は当社の特定子会社に該当することになります。

## 1. 増資の目的

今回の増資の目的は、SLA社が米国東海岸において梱包事業等の本格的営業を円滑に遂行できるよう、財務基盤の強化を図るものであります。

## 2. 子会社の概要

(1) 商号	SANRITSU LOGISTICS AMERICA Inc.
(2) 代表者	President 田中 光晴(当社取締役専務執行役員)
(3) 本社所在地	米国カリフォルニア州
(4) 設立年月	2010年3月
(5) 増資前の資本金	800千米国ドル
(6) 決算期	3月末日
(7) 出資比率	株式会社サンリツ 100%

## 3. 増資の概要

(1) 増資額	5,000千米国ドル
(2) 増資後の資本金	5,800千米国ドル
(3) 払込期日	2018年11月(予定) 3,000千米国ドル 2019年1月(予定) 2,000千米国ドル
(4) 増資後の出資比率	株式会社サンリツ 100%